

原料費調整制度に基づく2026年8月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	162.23	140.68	128.06
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³)	176.23	154.68	142.06
(参考) 7月 調整単位料金	172.54	150.99	138.37

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	(消費税込)			【参考】補助金適用前	
	2026年 7月	2026年 8月 ^{*1}	増減	2026年 8月 適用料金	補助金適用 前後の差
適用料金(円/月)	6,731	6,360	▲ 371	6,864	504

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

*1 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、14円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

	(円/t)		
	2026年2月～2026年4月 の平均 (7月検針分)	2026年3月～2026年5月 の平均 (8月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	84,460	88,690	4,230
┆LNG	87,440	91,540	4,100
┆LPG	97,800	109,210	11,410
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	29,500	33,800	4,300

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 &\text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{91,540}{109,210} \times 0.9206 \\
 &+ \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \\
 \hline
 & &= & \frac{88,694.72}{100} \\
 & & & \downarrow (10\text{円未満四捨五入}) \\
 & &= & 88,690 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 88,690 \text{ 円/t} &- 54,870 \text{ 円/t} &= & 33,820 \text{ 円/t} \\
 & & & \downarrow (100\text{円未満四捨五入}) \\
 & & & 33,800 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= \frac{33,800 \text{ 円}}{100 \text{ 円} \times 0.0858^{*2}} \\
 &= 29.00 \text{ 円}^3
 \end{aligned}$$

*2 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= 29.00 \text{ 円} - 14 \text{ 円} = 15.00 \text{ 円} \\
 & \text{(補助金適用後)}
 \end{aligned}$$

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金}(1,296.10\text{円}) \\
 &+ \text{調整単位料金}(125.68\text{円}) + \frac{15.00 \text{ 円}}{100 \text{ 円}} \times 36\text{m}^3 \\
 &= 6,360 \text{ 円} \\
 & \quad \quad \quad \uparrow \text{標準単位料金(税込)} \quad \quad \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \\
 & \quad \quad \quad \cdot \text{本体料金は小数点以下四捨五入}
 \end{aligned}$$

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。